

平成23年2月18日
矢作ダム管理所

現地実験説明会 質問及び回答

[公募手続きについて]

質問1：質問受付期間〔公募要領10)受付期間等④(1) P1-4〕は、平成23年2月18日（金）までとなっているが、質問受付期間を1週間程度延ばすことはできないのか？

回答1：本日（平成23年2月18日）の公募資料の説明や現地実験箇所を見られて、再度、社内で検討する際などに新たな質問が出てくると思いますので、平成23年2月25日（金）12:00まで変更します。

また、平成23年2月25日（金）14:00には、本日いただいた質問と質問に対する回答については、矢作ダム管理所3階の閲覧コーナーと矢作ダム管理所ホームページにて掲載します。

質問2：質問に対する回答〔公募要領10)受付期間等④(2) P1-4〕は、全社に対して共通で出されるのか、それとも質問した会社だけとなるのか？

回答2：質問のありました会社へのみ回答します。それ以外の方は、矢作ダム管理所3階の閲覧コーナーまたは矢作ダム管理所ホームページに掲載しますので、そちらをご覧ください。なお、閲覧及びホームページ掲載時には、質問された社の名称を伏せさせていただきます。

[公募内容について]

質問3：公募する技術〔公募要領3)公募する技術 P1-1〕は、固定式もしくは移動式とあるが、どちらか片方の提案だけでも良いのか？また、両方の提案でも良いということなのか？

回答3：固定式、移動式のどちらか片方の提案でも結構ですし、固定式、移動式の両方の提案をしていただいても結構です。

質問4：費用負担〔公募要領6)実験実施にあたっての役割分担 P1-2〕について、かなり大規模になると思われる。参考図を見ても矢板の大きなものが示されているが、費用がどれくらいと想定しているのか教えてほしい。

回答4：皆様方に応募していただく工法により費用が異なることから、現時点で費用を見積ることができないため、お答えできません。なお、企業努力で仮設方法を工夫し、参考図より安価な仮設工法を提案していただいても問題ありません。

質問5：洪水時に仮設を撤去した場合、その後、新しい実験を行う場合には、仮設の再度設置が必要となる。当社と新しい実験をする会社とお互いに施設を使用することになるのではないかと？

回答5：共有できる実験施設については、矢作ダム管理所と実験を実施することとなった法人又は法人からなる団体間で調整を行い、できる限り費用を軽減していきたいと考えています。

質問6：参加要件の中で、技術者の張り付け〔公募要領7)応募者の参加要件③ P1-2〕については、常駐と考えているのか？

回答6：応募された皆様方が費用を負担し、矢作ダム管理所がフィールドを提供する現地実験であることから、一般土木工事で実施されている技術者の常駐についての制限はありませんが、万が一、仮設工事の施工中や現地実験の実施中に事故が起きた場合、事故対応や現場の安全管理について責任や判断ができる方を配置していただきたいと思います。

質問7：公募要領8)応募方法①〔P1-2〕の中で、計算方法を提出と書かれているが、全てを提出することができない場合はどうなるのか？

回答7：計算方法について、できる限りの提出をお願いします。特許による制限、社内機密により提出できない内容については、提出しなくても結構です。

質問8：計測した結果は、応募者と国土交通省との情報共有になるのか。それとも国土交通省だけのものとなるのか？

回答8：公募要領11)その他留意点③ P1-4に記載されているように、今回の現地実験で得られたデータは、国土交通省と応募者の共有とします。なお、データの取扱いについて、応募者に対し、制限は設けていません。

質問9：非出水期であっても、出水や洪水の危険性もあると思われるが、その時の責任は全て設置した工事業者の責任となるのか？

回答9：基本的には、一般土木工事と同じ考えになります。安全に対する現場管理は、実験を実施することとなった法人又は法人からなる団体でお願いします。

[現地実験の条件について]

質問10：今回の現地実験で対象となる土砂の比重はどれぐらいか？

回答10：約2.6g/cm³です。

質問11：今日（平成23年2月18日）の流量は何m³/sで、実験では何m³/sを考えているか？

回答11：平成23年2月17日20時頃からの雨の影響で、本日は平年に比べ流量が多く、現在（平成23年2月18日14:00）の流量は約60m³/sです。実験対象期間の流量は、約15m³/s（昭和55年11月から平成22年2月の過去30年間の4ヶ月間（11月、12月、1月、2月）の平均流入量）を想定しています。

質問12：流量が多いため確認できないのですが、左右岸に設置されている坂路は、河道内で繋がっているのですか？

回答12：河川に降りるために設置されている坂路であるため、道は繋がっていません。

質問13：現地実験は、何年間で予定しているのか？

回答13：今のところ2年間と考えています。

質問14：現地実験において、管径や吸引口の口径を変更する試験を何パターンか提案したいが可能か？

回答14：現地実験の期間内に終了する内容であれば、皆様方より現地試験の内容について提案をいただいても問題ありません。

[他事業との関連について]

質問15：天竜川ダム再編事業とは、別事業だと考えて良いのか？

回答15：天竜川ダム再編事業とは、これまでも調査結果等について連携を図っており、今回の現地実験の結果についても、双方で利用していきたいと考えています。